



地域・駅・新幹線ニュースレター

はっしん！新青森



青森県立青森西高等学校
Aomori Prefectural Aomori Nishi Senior High School



青森大学
AOMORI UNIVERSITY

2022年3月22日(火)
第30号 【FREE】

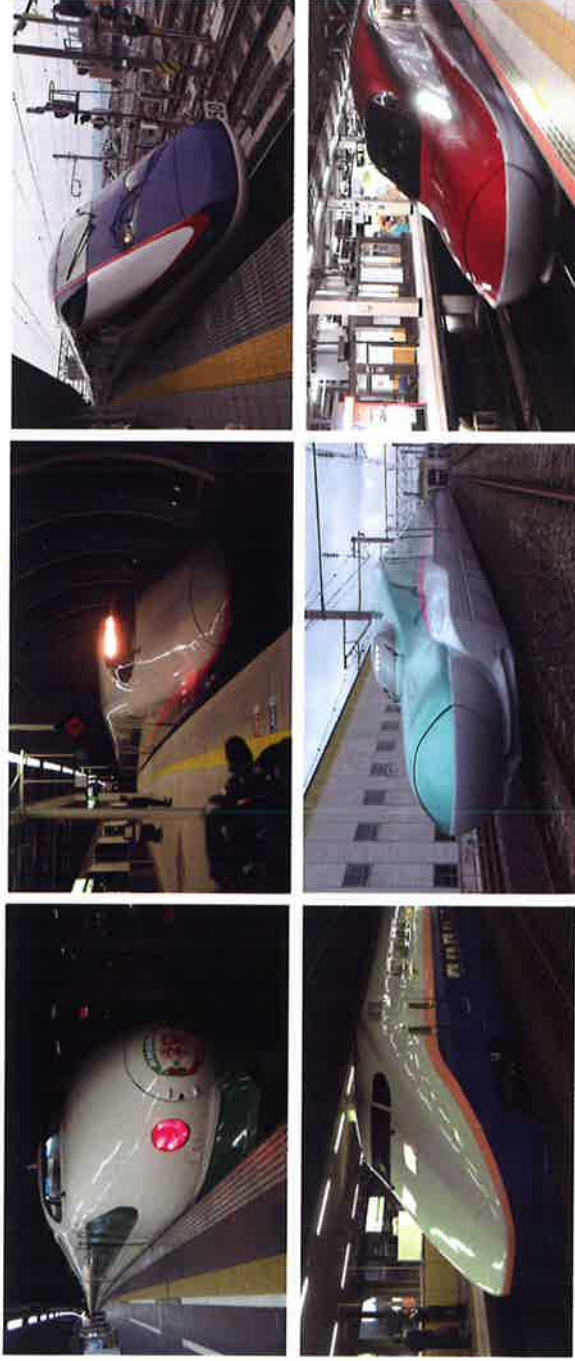
★3・4月合併号

青森大学・青森西高等学校
高大連携事業
協力：JR東日本新青森駅

JR 東日本「新幹線 YEAR2022」展開

「盛岡」新潟40周年 「山形」30周年
「秋田」長野25周年 「八戸」20周年

東北・上越・山形・秋田・盛岡間は1982年6月23日、相次いで開業から節目の年を迎えるのに合わせて、各路線を運行するJR東日本は12月まで「新幹線 YEAR2022」キャンペーンを実施しています。記念のイベントやスタンパリの開催、フレセント配布、記念駅弁の販売、JREポイントの特典チャケット交換といった催しを順次展開します。



左上は東北新幹線・盛岡開業時に運行していた200系車両（新潟駅で2007年撮影）。中上は八戸開業時の一番列車、E2系1000番台車両。右上は山形新幹線のE3系車両。左下は上越新幹線を走っていたE1系車両。中下は東北新幹線のE5系車両、右下は秋田新幹線のE6系車両



東北新幹線・大宮～盛岡間は1982年6月23日、上越新幹線・大宮～新潟間は同年11月15日に開業し、今年が40周年に当たります。また、山形新幹線（福島～山形）は1992年7月1日の開業から30周年を迎えます。1997年は3月22日に秋田新幹線（盛岡～秋田）が、10月1日には北陸新幹線（高崎～長野間、当時は長野新幹線）が開業しており、今年が25周年です。2002年12月1日には東北新幹線が青森県に到達、八戸開業を迎えました。今年はそのから20周年になります。

詳しくは特設サイト (<https://www.jreast.co.jp/shinkansenyear2022/>)へ。

※3月16日深夜に発生した福島県沖を震源とする地震で東北新幹線に大きな被害が出ました。1日も早い復旧をご祈念申し上げます。



木村菜乃花さん

Follow Your Dream

私は、1年生の夏からおもてなし隊に入隊しました。1年生のときはたくさん活動していろいろな経験ができました。しかし、2年生になって1年生でできたことができなくなっていました。

試行錯誤しておもてなしをしてきましたが、1年生のとき体験したことが3年間で一番自分のためになったと思います。だから、1、2年生には自分の目や耳、手、足を使って自分で実際に体験しておもてなしをしてほしいのです。

私が2、3年生で経験してきたことは今の1、2年生も体験してきたことです。この1、2年間の経験を元にしたものから高校生活をより実りあるものにしてください。

最後に、みなさんがおもてなし隊に入ったのは何か目標があったからだと思います。「FOLLOW YOUR DREAM」という言葉のように、自分の目標のために頑張ってください。

青森西高校「青西おもてなし隊」がゆく③

隊長交代 エールと抱負

青森県立青森西高等学校の「青西おもてなし隊」隊長が、3年の木村菜乃花（なのは）さんから2年の太田美慧（みさと）さんに交代しました。コロナ禍で活動が思うに任せない中、バトンをつないできた木村さんは「さまざまな体験を生かし、目標を持って頑張ってください」とエール。太田さんは「青森の魅力をさまざまな人に伝えたい」と抱負を語っています。



太田 美慧さん

青森を学んで
魅力伝えたい

おもてなし隊の新隊長になった、2年2組の太田美慧です。私がおもてなし隊の隊長として頑張りたいことは、県外・海外の方に限らず、県内の方もおもてなしし、青森の魅力を伝えることです。

「青森県民ならば、青森の魅力を既に知っているのでは？」と思う方もいるかもしれませんが、私はおもてなし隊として活動していくうちに、今まで全く知らなかった青森の歴史や「既に知っている」と思っていた事柄に対する見聞をさらに広げることができました。

青森県民が知らない青森の魅力は、まだまだたくさんあると思います。それを、県内外を問わずさまざまな人に伝えながらおもてなしができるように、まずは自分から青森について学んでいこうと思いました。

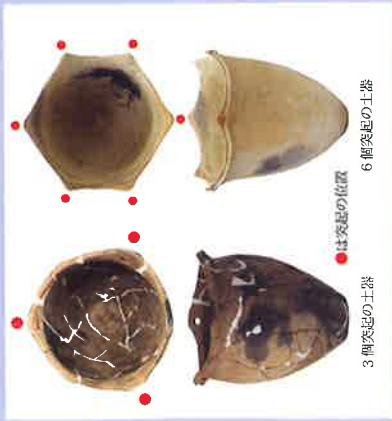
また、コロナ禍での活動は制限されていますが、隊長としての責任を果たせるように頑張っていきたいです。



長万部高校生（手前）と記念撮影する青西おもてなし隊員＝2021年7月

三内丸山遺跡

三内丸山遺跡は新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、1月下旬から長期の休館を余儀なくされました。その環境下、同館は4月3日まで開催予定の企画展「縄文人



3 個突起の土器



三角形土製品



突起3個を持つ土器

企画展「縄文人と数」SNS、動画で紹介

三角形の土製品が現れていることに注目しています（左の写真2点）。

また、動画では、ペンダント状の装飾品の周囲に刻まれた突起の数や、「4.2m」を基本的な単位に建てられたらしい建物の秘密に迫っています。詳しくはぜひ、右のQRコードからご覧下さい。



ガラス工芸・石井康治



4.23 - 6.26



回顧展 4月23日開幕

青森を愛したガラス工芸作家・石井康治（いしい・こうじ、1946～1996）の、初めての本格的な回顧展「詩・季・彩―石井康治 四季を詩う彩りのガラス」が4月23日（土）から、青森県立美術館で開かれます。

石井は千葉県に生まれ、東京芸術大学工芸科を経て東洋ガラス株式会社に就職、ガラス瓶の製品デザインを手がけました。自らもガラス作品の制作を始め、77年に退社して創作活動に専念。やがて青森を訪れて四季と色彩に魅せられ、1991年、現在の青森県立美術館に近い青森市三内丸山に念願のアトリエを構えます。1995年には自らの一つの到達点と自負する「樹映（じゅえい）」シリーズを制作しますが、翌96年、急逝しました。

青森県立美術館

回顧展では100点を超える作品・資料により、石井が考案した「彩花文（さいかもん）」など多彩な文様技法による豊かな作品世界を紹介します。



【画像左】《テーブルランプ》1996年
【画像中】《樹映―冬の景》1996年
【画像右】《ガラス罎―花筏》1996年
すべて青森県立美術館寄託 撮影：大堀一彦

新幹線駅デザインコンセプト

青森西高校と交流のある北海道立長万部高校の生徒らが2022年1月、長万部町の「新幹線駅デザイン検討委員会」委員として、北海道新幹線・札幌延伸に伴い新設される駅のデザインコンセプト「湯けむり香る噴火湾、人と時代の交差点」を木幡正志町長に答申しました。

長万部高校生は委員長を務め、会議の運営・進行を担ったほか、2022年7月に規模や在来線との乗り換え機能が似通う新青森駅を訪問し、青西おもてなし隊の隊員らと交流しました。11月には同校で開かれた「おもてなしフォーラム」にオンラインで参加しました。

3回の検討会議で町民の意見を取りまとめた生徒たちの姿に、山田仁樹校長は「生徒たちが悩み、考え、自らの力で切り開いたこの取り組みこそ、必要とされて

長万部高校生らが答申

いる『学び』と痛感しています」と同校ホームページで賞賛しています（QRコード参照）。

9年後の北海道新幹線・札幌延伸の当日、青西おもてなし隊と長万部高校生の交流が見られるかもしれません。



三内丸山遺跡センター

見学時間 9:00～17:00（入場は閉館の30分前まで）
休館日 毎月第4月曜日（祝日の場合は翌日）、12月30日～1月1日
観覧料 一般 410円（330円）／高校・大学生等 200円（160円）／中学生以下 無料

※（ ）内は20名以上の団体料金
※特別展は別料金。展示内容により変更する場合があります。
※個人観覧者は、青森県立美術館のチケット表示で割引特典あり。
（詳しくは各施設のチケットカウンターまでお問合せください。）



〒038-0031 青森市三内字丸山305
TEL.017-766-8282 / FAX.017-766-2365
URL https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp

お問合せ

新青森駅 ⇒ 三内丸山遺跡センター：循環バス「ねぶたん号」（東口）約20分・300円、タクシー（南口）約10分・1,000円前後、徒歩約30分
⇒ 青森県立美術館：「ねぶたん号」（東口）約10分・300円、タクシー（南口）約12分・1,200円前後、徒歩約40分

Facebook ページ Instagram アカウント

＜ネット情報＞

Facebook ページとInstagram アカウントを開設し、独自の記事・情報を掲載しています。ご意見をお寄せ下さい。



下さい。また、PDF版を青森西高校ホームページ

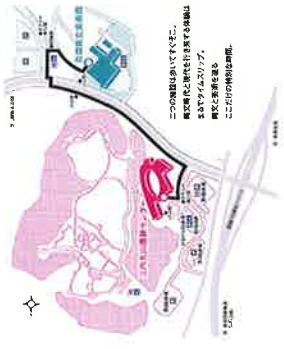
（<http://www.aomorinishi-h.asn.ed.jp/>）に掲載しています。いずれも、右側のQRコードからご覧いただけます。

☆このニュースレターは、青森大学社会学部・櫛引研究室が企画・制作し、文責を負っています。お問い合わせ

青森県立美術館

縄文と芸術

三内丸山遺跡センター 青森県立美術館



開館時間 9:30～17:00（入場は16:30まで）

休館日 毎月第2、第4月曜日（祝日の場合は翌日）
※企画展開催時、展示替え等により変更する場合があります。

観覧料 一般 510円（410円）／高校・大学生 300円（240円）／小学生・中学生 100円（80円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※企画展は別料金。展示内容により変更する場合があります。

※個人観覧者は、三内丸山遺跡センターのチケット表示で割引特典あり。

（詳しくは各施設のチケットカウンターまでお問合せください。）



〒038-0021 青森市安田字近野185
TEL.017-783-3000 / FAX.017-783-5244
URL <http://www.aomori-museum.jp>

お問合せ